



# みなみ風

学校教育目標 人間力を高め、未来にはばたく児童生徒の育成

合言葉 私たちの最上位目標は、子どもの幸せ

学園だより 令和5年11月22日 第21号 みなみ学園義務教育学校

## 11/17 (金) みなみフェス「奏」～輝け 友情！創り出せ 伝統！～

今年5月に新型コロナウイルス感染症が第5類に移行したことを受け、今年度のみなみフェスティバルは、人数制限などもなく、全児童生徒、保護者、地域の方々が一体となって楽しめるフェスティバルになりました。開会式で、私は、「今日は、学校中のみんなの心が一つになる日です。」と子どもたちに伝えました。どの学年の子どもたちも一生懸命に学年発表をし、その発表を見て、観客のみんなが盛大な拍手を送りました。また、この学年発表に加え、今年度は、児童生徒主体の「おもてなし活動」も行うことができ、各会場がとても盛り上がりました。このおもてなし活動では、6～9年生が、下級生などを丁寧にもてなし、もてなされた皆さんは、心から楽しむことができました。子どもたちの様子・表情から、学校中のみんなの心が一つになったのを実感しました。



それぞれの学年が、発達段階や学級の強みを生かした素晴らしい発表をしました。1年生は、お揃いの緑色の衣装で歌ったり踊ったりし、その可愛らしさに、会場中が温かい雰囲気になりました。その他の学年も、昨年度より成長した姿を見せ、子どもたちの頑張っている姿に、感慨もひとしおでした。後期課程生の合同合唱では、心を一つにして歌う姿が、最高に輝いていました。



児童生徒会役員や実行委員など、みなみフェスティバルの運営に携わってきた皆さんは、6月くらいからフェスについて様々な提案をし、準備を進めてきました。コロナ禍の影響で平成31年から実施していなかったおもてなし活動ですが、6～9年生は、おもてなしとは、「感謝や思いやりの気持ちを表すこと」の意味を理解し、活動することができました。下級生にも、このおもてなしの心が、きっと引き継がれていくことでしょう。

## 11/21 (火) 自分のベストを尽くしました ~前期課程持久走大会から~

小春日和の暖かなこの日、子どもたちは、自分の精一杯で一生懸命にマラソンコースを駆け抜けました。たくさんの保護者の皆様の声援のおかげで、練習の時より頑張れました。



後期課程生ですが、来年1月14日(日)に芸術の森公園周辺で行われる県下中学校交歓笠間市駅伝大会参加に向けて、11月から部活動合同練習に取り組みます。男女各1チームずつが参加し、子どもたちが力の限りを尽くして襷をつなぐこの大会も、とても楽しみです。

## 11/19 (日) 音楽部の皆さんが笠間・菊祭りを盛り上げました



笠間菊まつりが、10月21日(土)から11月26日(日)まで笠間稲荷神社周辺で行われていますが、後期課程音楽部2名が市から招待され、11月19日(日)にかさま歴史交流館井筒屋特設ステージでミニコンサートを行いました。2人は、「残酷な天使のテーゼ」や「見上げてごらん夜の星を」など4曲を、リコーダーでさわやかに演奏しました。観光していた方も足を止め、リズムをとりながら2人の演奏を聞き入っていました。「上を向いて歩こう」の演奏では、曲に合わせて一緒にロずさんでくださる方もいて、とてもうれしい気持ちになりました。秋晴れのもと、暖かな日差しを浴びて演奏できたことは、音楽部の二人にとってとても素敵な思い出になったことと思います。

## 6年生 藤原優太さんが会長賞受賞！ ~第2回 小野友五郎新聞コンクールにて~

数学者や測量技術者としても活躍した笠間藩士、小野友五郎(1817~98)。笠間藩の下級侍の息子が努力を重ね、幕末の勤定奉行まで務めました。その功績をたたえようという「小野友五郎新聞コンクール」において、6年生の藤原優太さんが、最高賞である「会長賞」に輝きました。藤原さんのほか、多くの6年生が、夏休みの課題としてこの新聞コンクールに出品しており、感心しました。入賞作品は、11月26日(日)まで、かさま歴史交流館井筒屋に展示されています。ぜひご覧になってください。

(文責：野尻)



芸術の秋をお楽しみください



茨城県芸術祭小中学校児童生徒美術展覧会  
笠間市児童生徒美術展覧会

11/25~29 ザ・ヒロサワ・シティ会館  
11/25~26 茨城県陶芸美術館